

[008_02]法政研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/14649>

出版情報：法政研究. 8 (2), 1938-04-30. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：



雜報

法政學會總會

昭和十二年四月七日正午より

滿期退職の助手副手諸君送別會開催

昭和十二年五月五日正午より

助手副手就任歡迎會開催

昭和十二年十二月十五日午後二時より開催

協議事項 一、雜誌「法政研究」第八卷第一號以後の分に
付其の印刷及編輯形式の確定變更に關する件

昭和十三年三月十二日正午より

滿期退職の助手副手諸君送別會開催

法政學會評議員會

第七回評議員會 昭和十二年五月八日本年度役員左の通り決定

一、評議員會幹事

二、會計委員

三、雜誌主任

同 副主任

四、研究會主任

今中 教授

菊池 教授

西山 教授

野見山 講師

佐治 助教授

五、編輯掛

六、研究會掛

平田 助手

古林 助手

羅 助 手

田 住 副 手

第八回評議員會 昭和十二年六月二十五日

協議事項 一、法科會補助費支出の事後承認に關する件

其他。

附 役員會 昭和十二年六月三十日

協議事項 一、「法政研究」頒布に關する件

法政學會研究會

第二十二回例會 昭和十二年六月二十二日（金）

午餐會後引續き開會（午後〇時半より）

出席者

教官 阿武、今中、菊池、舟橋、宇賀田、金田、佐治、

田村、野見山

助手副手 平田、田方、張、石田、戸矢、柳、船越、田住

演題

一、大審院に關する雜誌 前田前判事

第二十三回例會 昭和十二年十二月二日（木）午後三時半より

出席者

教官 菊池、阿武、今中、舟橋、武藤、佐治

助手副手 龍岡、羅、宋、戸矢、柳、石田
演題 一、法と技術 牧野東大教授

私法研究會

第八回例會 昭和十二年六月九日(水)

午後五時より 於 私法研究室

出席者 阿武、舟橋、菊池、石田、戸矢、平田

一、いはゆる表示主義の理論について 舟橋教授

第九回例會 昭和十二年六月十四日(月)

午後五時より 於私法研究室

出席者 阿武、菊池、舟橋、石田、戸矢、竹村、宋、龍岡

平田

一、將來の債權の差押(判例研究)

平田助手

第十回例會 昭和十二年七月二日(金)

午後三時半より 於 私法研究室

出席者 菊池、舟橋、龍岡、石田、戸矢、飛石、平田

一、中止犯學說に對する一つの疑問(判例を中心とし

て)

龍岡學士

第十一回例會 昭和十二年九月二十二日(火)

午後三時より 於 私法研究室

出席者 野津、菊池、舟橋、田村、宋、石田、竹村、飛石

戸矢

一、陪審制度の將來

田村講師

第十二回例會 昭和十二年九月二十九日(水)

午後三時より 於 私法研究室

出席者 野津、阿武、菊池、舟橋、田村、宋、石田、竹村

飛石、戸矢

一、小作權に就いて

石田副手

第十三回例會 昭和十二年十月十三日(水)

午後三時より 於 私法研究室

出席者 菊池、阿武、舟橋、戸矢、飛石、宋、石田

一、「扶助」法規と内縁關係 戸矢副手